



DRØMMER



KJÆRLIGHET



SEX

Director & Scriptwriter

DAG JOHAN HAUGERUD

私たちは賢くなるほど、本音を隠すのが上手くなる（と、思い込んでいた）。

本当は、愛したり、愛されたいだけなのに！

多様な私たちの等しく平凡な悩みこそが

「ここは戦場ではなかったはずだ」と教えてくれる。

映画を通して対話ができる世界を、とても嬉しく思う。

——世武裕子 | 映画音楽作曲家・演奏家 |

正しい家族の在り方とか、

人の愛し方を押しつけてくる社会に息苦しくなったら、

夜のオスロでフェリーに乗って何往復もしながら、

『LOVE』の会話を思い出したい。

——森百合子 | 北欧ジャーナリスト |

愛についての、静かで豊かな会話の連続。

周りの友人たちはよくマッチングアプリで出会った

どうでもいい男とのどうでもいい話を面白く教えてくれるけど、

本当は『LOVE』のような

複雑で優しい機微があったのかもしれない、

そうだったらいいのにと考えた。

——ゆっきゅん | DIVA |

独身の女性医師がゲイの看護師に教わる

出会いアプリの刹那なLOVE。

バツイチのパパがもう一度懸けるLOVE。

心を閉ざした年配ゲイが気づくLOVE。

社会が少しでも良くあってほしいと願うLOVE。

街じゅうに瞬くLOVEが愛おしくなる、

ノルウェーからの美しい贈り物を見逃さないで！

——ブルボンヌ | 女装パフォーマー |



SEX

人を愛することと、心が自由であることは両立しうるのか。

濃厚で、しかも要所所で笑える会話劇。

演劇でも見てみたい。

——松尾スズキ | 作家・演出家・俳優 |

口は災いの元。そして言葉は不確かなもの。

「人間ってやつあ、本当困ったもんでね」、

そんな落語（これは艶笑落語）を聴いた気分。

哀愁もあって名人芸と呼ぶに相応しい映画だ。

——みうらじゅん | イラストレーターなど |



中年の危機、一線を越えれば愛の脆さを知り、

信用が裏切りに変わり、家族を失うこともある。

妻よ、競いあえるのは優しさだけ。

多くの期待から俺を解放してくれ。

——岡野あつこ | 夫婦問題研究家 |

煙突はファルス（男根）の象徴である。

だが、二人の男は、心理学の煙突掃除療法さながらに、

感情を解放し、性に揺らぎをもたらす。

本作では、常に背後に映し出される

スタイリッシュな都市の風景も見逃さない。

——五十嵐太郎 | 建築史家 |



Golden Bear
75th Anniversary
Berlinale

第75回ベルリン国際映画祭

最高賞〈金熊賞〉受賞



DREAMS



81st Venice International Film Festival

第81回ヴェネチア国際映画祭

コンペティション部門正式出品



LOVE



74th Berlinale
Panorama

第74回ベルリン国際映画祭

エキュメニカル審査員賞と3部門受賞



SEX



*Written and Directed by
Dag Johan Haugerud*

特集上映

オスロ、3つの愛の風景



三大映画祭が惚れ込んだ北欧の知られざる名手ダグ・ヨハン・ハウゲルード監督

「恋」「愛」「性」—— 答えのないテーマを探求する珠玉の3作品を一挙公開!

配給: ビターズ・エンド 後援: ノルウェー大使館 ©Mollys ③ bitters.co.jp/oslo3

鋭い知性で観る者の心を深くえぐる

——トッド・ヘインズ(『キャロル』)



第75回ベルリン国際映画祭で ノルウェー映画初の最高賞〈金熊賞〉受賞!

イングマル・ベルイマン、アキ・カウリスマキ、ヨアキム・トリアーに続く
北欧映画の知られざる名手、ダーグ・ヨハン・ハウゲルード監督の長編作、日本初上陸!

ベストセラー小説家や図書館の司書といった異色の経歴を持ちながらも、長編映画デビュー作「I Belong」(英題/2012)や「Beware of Children」(英題/2019)がノルウェー・アカデミー賞(アマンダ賞)を席巻するなど、北欧映画界ではその確かな実力が評価されてきたダーグ・ヨハン・ハウゲルード。トリロジーとして発表した『SEX』で昨年の第74回ベルリン国際映画祭にてエキュメニカル審査員賞を含む3部門を受賞、『LOVE』は第81回ヴェネチア国際映画祭コンペティション部門に出品、そして『DREAMS』では今年の第75回ベルリン国際映画祭にてノルウェー映画初の金熊賞という快挙を成し遂げ、3作連続で世界中の注目を集めた。歴代の名匠たちに続く、北欧の知られざる名手ハウゲルード渾身の3作品が、満を持しての日本初劇場公開となる。



これまでにない感情に出会うとき、人は何を考え、どんな言葉を交わすのか——
自然と文化の美しい街、オスロから届く「恋」「愛」「性」にまつわる3つの“風景”



女性教師に恋をした17歳少女の赤裸々な初恋手記をめぐる『DREAMS』、2人の医療従事者が様々な愛の形を模索する『LOVE』、妻子がいる男性がとある体験から「らしさ」を再考する『SEX』。3作に共通するのは、自らの心の奥底にある欲望に気づいた人々が繰り広げる、ウィットに富んだ会話の数々。正義のジャッジを下すことなく、これまでに刷り込まれてきた価値観と内から湧き出てくる感情を紐解いていく人々の姿に、わたしたちは共感し、戸惑い、そして未知の刺激と余韻に出会う。そして日常的に使用されるフェリー、ランドマークであるオスロ市庁舎、煙突のある家々など、ノルウェーの首都・オスロならではの自然と文化が融合する美しい景色が、人々の優しくさやかな営みを映し出す。エリック・ロメールから多大な影響を受けたというハウゲルードが描く、現代社会で生きる人間の“おかしみ”をご堪能あれ。

Director's Comment

この3作品の根底にある主題は何よりも、「どうすれば善く生きられるか」という問いです。そして私が最も伝えなかったのは、
今とは違う生き方や考え方も、
きっと可能だということなのです。

by ダーグ・ヨハン・ハウゲルード



オスロ、3つの愛の風景

監督・脚本: ダーグ・ヨハン・ハウゲルード 撮影: セリエ・セメク
《DREAMS》出演: エラ・オーヴァービー、セロメ・エムネトゥ、アナ・ダール・トルブ、アンネ・マリット・ヤコブセン
2024年ノルウェー/ノルウェー語/DCP/5.1ch/110分/ビスタ/原題: Drømmer/英題: Dreams (Sex Love)
《LOVE》出演: アンドレア・ブレイン・ホヴィグ、タヨ・チッタテッラ・ヤコブセン、マルテ・エンゲブリクセン、トマス・グレスタッド、ラース・ヤコブ・ホルム
2024年ノルウェー/ノルウェー語/DCP/5.1ch/120分/ビスタ/原題: Kjørlighet/英題: Love
《SEX》出演: トルビルン・ハール、ヤン・グンナー・ロイゼ、シリ・フォルバーク・ビルギッテ・ラーセン
2024年ノルウェー/ノルウェー語/DCP/5.1ch/118分/シネスコ/原題: Sex/英題: Sex
配給: ビターズ・エンド 後援: ノルウェー大使館
©Motlys www.bitters.co.jp/oslo3 ✉@BittersEnd_Jnc



9/5 (Fri) より3作一挙公開!

レビチケ オンライン ¥1,600(税込) 絶賛発売中!

【大阪】 【京都】 【兵庫】

テアトル梅田
06-6440-5930

アップリンク京都
075-600-7890

シネ・リーブル神戸
078-334-2126

近日

【愛知】

ナゴヤキネマ・ノイ
052-734-7467

【北海道】

シアターキノ
011-231-9355

【福岡】

KBCシネマ
092-751-4268

ほか、全国
順次公開

水原駅 宮益坂口 B2出口すぐ
Bunkamura ル・シネマ
3F 3F 5F
050-6875-5280

有楽町イトシア イトシアプラザ 4F
「イ・テアトルシネマグループ」
ヒューマントラストシネマ有楽町
03-6259-8608